

平成24年度 第2回 桔梗が丘自治連合会 議事録

日 時	平成24年6月16日(土) 19:35~21:35
場 所	桔梗が丘公民館 大会議室
出 席 者	<p>区長・自治会長 18名。(別紙記載)                  欠 席 河合、中村、小坂、中谷(昌)、東、矢頭。                  自治連合協議会・大垣、阪本。                  事務局・山中、松村。</p>
<p>・名張警察署桔梗が丘交番                  ・名張市社会福祉協議会                  ・名張市在宅医療支援センター                  からの説明。</p>	<p>上田副代表幹事が司会を務め、会議が始まった。                  議事に入る前に、名張警察署桔梗が丘交番所長中村健太郎氏から最近の地域の治安状況について、名張市社会福祉協議会藤田課長、稲森恒次主任及び名張市在宅医療支援センター井戸本千枝子相談員の各氏から、事業活動の現状分析並びに活動計画等について説明があった。</p> <p>説明の概要</p> <p>1. 「安全・安心なまちづくり」を目指して。                  名張警察署桔梗が丘交番所長中村健太郎氏から、「平成24年1~5月の犯罪発生状況は三重県下においては、昨年比5%の増加が認められるが、幸いなことに名張警察署管内に於いては9%減となっている。</p> <p>最近の特徴は郊外の溝に設置されたグレーチングの盗難が相変わらず多いことが挙げられる。皆さんも不審車両を見かけたら、警察までご連絡を下さい。</p> <p>一方、高齢者を狙った振り込め詐欺も多く発生しているので、防止の啓発運動を推進していきます。</p> <p>次に、本年4月以降、全国的に学童の登下校時における事故が発生しているが、事故防止のため、横断歩道、信号の設置などの対策が必要です。しかし、予算等の関係ですぐには出来ません。そこで、警察としては当面の間、通学路の見直し、交通取り締まり強化、交通安全啓発運動の3本柱で取り組んでいきます。学童の見守り等、皆さんのご協力もお願いします。</p> <p>また、今月は飲酒運転撲滅を目指した取締りを強化していきます。皆さんも色々なところでご協力をお願いします。</p>

以上で説明を終わりますが、日頃、皆さんがお気付きの点があればお伺いしたいと思います。よろしく申し上げます。」と述べた。

出席者の意見

・ 5番町区内で単車の暴走が多い、取締りを強化して欲しい。

交番：警察も概要を把握している。取り締り対策を強化する。

・ 8番町・池の台から7番町の桔梗が丘東小学校への通学路に信号を設置していただきたい。(要望)

交番：当方からも本署に意見をあげる。

・ 普段、桔梗が丘交番には常駐の警察官がいない関係で、地域とのコミュニケーションが希薄になっているのではないか。もっと地元に着した交番になって欲しい。

交番：これは全国的にも問題になっており、課題でもある。個人情報保護の関係から難しい点もあるが、今後努力する。地区の皆さんとの意見交換の場を今後も設けたい。皆さんの協力もよろしく願います。

辻森代表幹事から、「自治連合会としても各種の情報を伝えるので、安心して暮らせるまちづくりに協力していただきたい。

賑わいのある街にしていく為に努力する。何かあればすぐ警察に知らせよう。」と述べた。

交番：何かあればすぐにご連絡、ご相談ください。出来る限りの対応をする。

## 2. 第2次名張市地域福祉活動計画について。

名張市社会福祉協議会藤田課長、稲森恒次主任の両氏。

藤田地域福祉課長：「普段は各種の募金にご協力いただきありがとうございます。地域福祉活動は住民の皆さんの協力なしには出来ません。平成24年度から3年間の名張市社会福祉協議会の活動計画について、皆さんのご協力のもと、共にどういうことが出来るか計画を策定したので、本日はそのご説明をさせていただきます。」

引き続き稲森恒次主任から、平成24年度以降の活動計画について別添え資料に基き概ね次のような説明があった。

- ・ 社会福祉協議会は、社会福祉法第109条において「地域福祉の推進を図ることを目的とする団体」と規定されている。

- ・ 社協は地域会員(世帯会員)の会費と募金で運営されている。
- ・ 社協の組織に地域代表理事として、桔梗が丘自治連合協議会から1名、桔梗が丘地区の民生委員児童委員協議会から1名ご参加いただいている。
- ・ 地域福祉活動計画は、地域住民が行う地域福祉活動の支援、環境づくりの推進を基本にしている。
- ・ 平成19年度より「人と地域が思いでつながる名張のまちへ」を基本理念として、地域住民の方と一緒に事業を推進してきた。
- ・ 具体的には、「いきいきサロン」を始め、さまざまな活動がされるようになった。特に、いきいきサロンは名張市内15箇所で開設され充実しつつある。
- ・ 各地域の活動が活発化するにつれて、財源確保は厳しい状況にあります。多くの活動は、地区会費、共同募金等で支えられていますので、ご協力よろしくお願ひします。
- ・ 5ページ以降に計画の基本的な方向と体系を記載したので、後ほどご確認ください。
- ・ 2つの重点事業(1)小地域ネットワーク事業とボランティアセンター事業の包括的な支援体制の構築。(2)なばり暮らし安心センター(仮称)の体制確立。及び5つの推進項目(1)気づきあおう(2)知らせあおう(3)支えあおう(4)ふれあおう(5)築きあおう、について具体的に記載しています。
- ・ 引き続き、2つの重点事業(資料7ページ)及び5つの推進項目(資料9ページ)の説明があった。
- ・ 以上の事業の推進は、本日出席の皆様のご協力無しにはできないので、これまで以上のご協力とご支援をお願いします。

以上の説明の後、議長は出席者に意見を求めた。

#### 出席者の意見

- ・ 社協会費の集金方法をもっと簡素化したほうが良い。(各戸への封筒配布について等)
- ・ 郵便局の振込みは手間が多すぎる。(10万円を超えるもの)今後改善はできないのか、一度郵便局に申し出ていただきたい。
- ・ 事業支援の内容をもっと分かり易く出来ないか。

<p>議事</p> <p>1. 決議事項</p> <p>(1) 議事録署名人</p> <p>(2) 平成24年度桔梗が丘夏まつり開催に関する件</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域ビジョンの推進にも協力いただきたい。</li> <li>・いきいきサロンへの助成はもう一度検討いただきたい。</li> <li>・各区（自治会）から、いきいきサロンへの関わりについて、要望と意見交換があった。</li> </ul> <p>辻森代表幹事から、今後、市社協の事業活動に地域として協力・協働することにしたい。皆さんのご協力をよろしくお願いする旨を述べた。</p> <p>3. 名張市在宅医療支援センターから「桔梗が丘地域の在宅医療の現状」について。</p> <p>名張市在宅医療支援センターの井戸本相談員から、地域の医療体制について、概ね次のような説明があった。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・名張市内には、医療機関が51箇所あり、その内、桔梗が丘には10箇所の医療機関があるが、在宅診療が可能な機関はない。</li> <li>・一部、協力されているところはあるが、充分ではないと感じている。</li> <li>・我々は、住民の方にかかりつけの医者を持っていただくよう、お願いしている。皆さんもご協力下さい。</li> <li>・本日は、桔梗が丘地区内の状況を説明して、各区(自治会)長に現状を知っていただきたいと思っている。</li> <li>・お手元に医療機関ガイドブックを配布してあるので、参考にしてください。</li> </ul> <p>出席者の意見</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・在宅医療制度をうまく利用することを考えて行こう。</li> <li>・市立病院の問題も含め、行政にも要望をしていくべきである。</li> <li>・今日は地域の問題点を提起されたので、我々も現状をよく認識して対応していくように努力したい。</li> </ul> <p>自治連合協議会規約第46条第2項の規定により、議事録署名人に島田信人氏、角谷憲一氏を選任し承認された。</p> <p>大垣協議会副会長（総務委員長）から、平成24年度桔梗が丘夏まつり開催の実施要領について、別添え資料に基き概ね次のような説明があった。</p>
---	---

	<p>「廣岡住民交流部会長が所要で欠席ですので、代わって説明をさせていただきます。」</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 目的：子どもから大人まで地域住民が参加し、模擬店や盆踊りを中心に楽しみ、住民相互の親睦を深める。又、他地域の人々に住民交流の様子を発信する。</li> <li>2. 日時：平成24年8月18日(土) 16時30分～21時(通行止めは15時00分～22時)</li> <li>3. 実施場所：桔梗が丘商店街前の道路を歩行者天国にして開催。</li> <li>4. 内容：模擬店・フリーマーケット、盆踊り、パレード、アトラクション。</li> <li>5. 模擬店利用券(1軒300円)</li> </ol> <p>「以上のとおり、ほぼ前年と同じ内容ですが、今年度から本部席を駅寄りに移動し全体を広くしたい。例年通り手作り模擬店を基本とし、盆踊り、桔梗丘高校吹奏楽部のパレード、そしてアトラクションには新しく桔梗が丘中学校音楽部の演奏を予定している。模擬店利用券は300円券で1500軒分を見込んでいます。</p> <p>まつりの運営については、実行委員会を立ち上げ、辻森実行委員長以下、資料に記載のような構成としました。役割分担については、別表を参照してください。本年度も各自治会(区)長さん及び評議員さんに準備・設営・後片付け等をお願いしますが、ご協力方よろしく申し上げます。</p> <p>シャトルバスも例年通り運行を予定しています。</p> <p>昨年からの大きな変更点は3点です。(1)昨年まで駐車場整理と警備を地域の方をお願いしていたが、今年から警備会社に全面的に依頼をすることになった。予算的にも問題ありません。(2)緊急時に備えて本部席は少し舞台側に近づける。(3)まつりの実施の可否について、広報車を使用して住民の方に告知を図ることにした。」と述べた。</p> <p>&lt;協賛金について&gt;</p> <p>山中事務局長から、まつりの開催に伴う協賛金の募集について例年どおり各自治会(区)長さんのご協力をお願いする旨を述べ、要領の説明があった。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 昨年の名簿にもとづいて事務局より依頼状を送送する。</li> <li>2. 依頼状を持参される方はお申し出いただきたい。</li> </ol>
--	---

<p>(3) 桔梗が丘自治連合協議会旅費規程制定の件</p>	<p>3. 本日、昨年協力いただいた方の名簿と領収書を配布している。</p> <p>4. 追加で依頼先があればお申し出いただきたい。</p> <p>以上の説明の後、議長は出席者に意見を求めた。</p> <p>Q. 例年協賛金の一部(10万円)を敬老の日の費用に振り分けているが、趣意書にその旨を記載しなくていいのか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 昨年も記載が無かった。このままでいいのではないか。</li> <li>・ 今年から記載するには、かえって不自然ではないか。</li> <li>・ 例年そのようにしているのであれば、今年も記載をしなくて良い。</li> <li>・ 敬老の日への振り分けは、次年度から検討・考慮し、今年はこのままで行くことになった。</li> </ul> <p>引き続き意見を求めたが、特に発言は無く、採決の結果、全員挙手し「平成24年度桔梗が丘夏まつり開催の件」は提案どおり承認された。</p> <p>大垣協議会副会長から、桔梗が丘自治連合協議会旅費規程制定について別添え資料に基き、概ね次のような説明があった。</p> <p>「地域ビジョンの推進プロジェクトチームによる、新規事業策定作業の進行に伴い、先進地の視察・打合せ等の業務が発生するものと思う。そこで新しく出張に伴う旅費(支給)規程を制定したく、提案させていただく。」と述べた。</p> <p>「細目に亘って決めることは、当協議会では余り必要でないと考え、中身は基本的な部分だけとし、①目的地までの公共交通機関の往復運賃を支給する。②車を使用するときは、会長の許可を得る事とし、1出張につき200円を支給し、5キロメートル超える場合は、5キロメートル当たり100円加算する。</p> <p>③手当としては、日帰りは1,000円、宿泊出張の場合、手当2,000円を支給し、宿泊費は1泊につき10,000円を限度として支給する。」としたと述べた。</p> <p>引き続き、議長は出席者に意見を求めた。</p> <p>Q. 出張の定義はどうなっているのか。</p> <p>A. 業務遂行のため、市外(除く伊賀市)に出掛ける場合を想定した。</p> <p>Q. 出張の申請、許可は誰がすることになるのか。</p> <p>A. 会長宛に事務局経由で申請し、会長の許可を得ることとする。</p>
--------------------------------	--

<p>2. 報告事項</p> <p>(1) 名張市「ゆめづくり協働事業提案制度」に基づく平成25年度協働事業申請について</p>	<p>辻森代表幹事から、「本来ならもっと詳細な規定が必要かもしれないが、当協議会の組織の性質に鑑み。約1年間の経過を見ながら、検討したい。」と述べた。</p> <p>この発言に対し、出席者からは特に異存が無く、議長は採決に移り、賛成者の挙手を求めた。</p> <p>採決の結果全員挙手し、桔梗が丘自治連合協議会旅費規程は提案どおり承認された。</p> <p>辻森代表幹事から、「平成25年度から始まる、名張市「ゆめづくり協働事業提案制度」に基づく新規事業の開始申請の期限が6月末となっている。本来なら、各事業別にプロジェクトチームを立ち上げて検討する事になっているが、時間の関係で推進チームが優先順位1、2、の2事業、即ち「ふれあい茶房」の開設事業、「子どもたちと地域の絆づくり事業」の骨子をまとめ申請する事にした」と述べた。</p> <p>引き続き、阪本協議会・企画運営委員長から、「3月3日の地域ビジョン発表会の後、市側から「ゆめづくり協働事業提案制度」の説明があり、平成25年度からの運用具体化に向け、本年6月末に事業の骨子(案)を、8月末までに具体案をまとめて申請するように要請があった。当協議会からの申請は「ふれあい茶房の開設」と「子どもたちと地域の絆づくり事業」の優先順位1位2位の事業とした。「子どもたちと地域の絆づくり事業」は現在、地域内の3小学校共、何らかの形で取組んでいるが、これを更に進化させ、大きく拡大、育てて行きたい。詳細については資料をご覧いただきたい。「ふれあい茶房」も同様に取組みたいと考えている。」</p> <p>最後に「名張市側の説明では、この新規事業の財源は合計3千万円が予定されている。従って1地域へは200万円の配分になるものと思われる。」と述べた。</p>
<p>(2) 名張市地域づくり代表者会議について</p>	<p>辻森代表幹事(協議会会長)から、6月6日(水)開催された「名張市地域づくり代表者会議」の内容について以下の3項目の報告があった。</p> <p>①本年度の地域づくり代表者会議の役員構成について、井川会長以下、役員を紹介があった。</p>



	<p>②みえ防災コーディネーターとは、三重県と三重大学自然災害対策室が協働して、養成講座を開催して、所定の講座を受講した方が認定された。現在、名張市には合計15名の方が在住している。何か相談等があれば事務局長の宮下健氏（梅が丘北）にご連絡いただきたい。防災コーディネーターの方についての詳細は資料を参照いただきたい旨を述べた。</p> <p>③（仮称）地域SOSシステムの立ち上げについては、「市民が行方不明になり公開捜索が必要となった時、区や自治会が取るべき手順を明らかにし、行方不明者の早期安全確保を図り、安全で安心して暮らせるまちづくりを目標とした体制づくり」を目的に計画された。立ち上げにあたり、各自治会（区）長さんの意見を求めているので、ご協力いただきたい。（7月中旬まで）</p> <p>④名張川納涼花火大会への協賛について、各地域に協賛金の支出、募金の要請があったが、当地区としては、公民館の窓口には募金箱を設置することの協力にとどめたいと考えている。</p>
<p>3. その他</p> <p>(1) 平成24年度ゆめづくり交付金加算額（基礎的コミュニティ）配付について</p> <p>(2) 三重県自主防災組織実態調査集計結果（名張市）について</p> <p>(3) 配食ボランティア友～友の配達員募集の結果について</p> <p>(4) 「飼い犬マナー向上」の啓発チラシ回覧に</p>	<p>松村事務局次長から、「平成24年度のゆめづくり交付金加算額（基礎的コミュニティ）を本日現金にて配付をさせていただく。領収書は後日事務局にお届けいただきたい。」と述べた。</p> <p>辻森代表幹事から、「三重県防災危機管理部が昨年行った「三重県自主防災組織実態調査」の名張市分の集計結果の報告書が届いたので配付をした。緊急災害時等の体制作りに役立てていただきたい。」と述べた。</p> <p>辻森代表幹事から、「本年4月に皆様のご協力を頂いて、地区回覧で募集を行った配食ボランティア友～友の配達員は、お蔭様で9人の応募があり、そのうち7人の方にご協力をお願いした。2人の方は別途ご協力を頂く事になった。当自治連合会からも7番町の角谷自治会長がご参加いただいた。」と述べた。</p> <p>8番町1区の橋本自治会長から、「飼い犬の糞の処理について、最近地区内でのマナー違反が多く発生し、地域の住民は大</p>



ついて

変迷惑をしている。これは8番町に限ったことではないと思う。そこで、今回は桔梗が丘地域全体でマナー向上啓発チラシを作成し、一斉に回覧をするのが良いと思うと。」提案があった。

「回覧方法も、この回覧を単独でやれないかと考えているので、ご協力をお願いすると。」述べた。

出席者から異議は無く、早急に配付して地区内に単独回覧する事が了承された。

野邊協議会・広報委員長から、「ききょう通信が6月20日に51号が発行にされるので、一緒に各戸配布をお願いしたい。」と述べ、了承された。

以上で審議は終了した。

議長 比森保蔵 

議事録署名人 島田信人 

議事録署名人 角谷 憲一 

次回開催 平成24年7月21日(土) 19:30

桔梗が丘公民館 大会議室